

# 「家がいいね」 第128号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2015. 1. 5

一人でも「NO!」と言える意味

明けまして、おめでとございませう。新年早々に、教育TVで30分の面白い番組を見ました。題は「大心理学実験」、内容はこんなにも人間はだまされやすい存在であるということに尽きます。3番目のテーマが、サクラによる同調圧力。おかしいな思いつつも何と7割の人が間違いの答えに同意しました。救いは一人でも反対意見があると、自分の疑問を声に出せるという実験結果です。1番目は、共同作業になると手抜きが自然に出る実験。2番目は事前配布の情報の違いで、同じ話を聞かされても印象が違うという実験。いずれも世論などマスコミが誘導するのは心理学的には簡単という結果に思えます。番組は最後に意図を明かし、アフタケアをしますが、この親切的説明は実社会では無いものです。一人のNOは、他者が違和感をオカシイと言えるために貴重な存在です。

独裁に、「NO!」と投票した国がある



進富座で年末に観た映画の話です。1988年のチリでは軍事独裁政権が続き信任の国民投票が準備されていました。映画は実話を基に、CM

制作を担当した若者の周囲を描きます。1強の政権に対し多弱の反対勢力を虹のイメージでつなぎ、「どうせ政権の出来レース」という空気を「我々には未来がある」というメッセージで覆すのです。紆余曲折の末、今この国は、ミシエル・バチエリ女性大統領（外科医・小児科医）を選んでいきます。今の日本はどうだろう。法律で決まっているから（実は閣議で決めただけ）政権が全てを決めると沖繩や反対意見を無視し、圧政を進める。その先は、1%の人が99%の人を支配するアメリカの失われた10年と何ら変わりがないと思えます。（堤未果 「政府は必ず嘘をつく」角川新書より）

初詣での贈り物

大勢の参拝客で混雑する外宮内宮を避けて、瀧原宮へ初めてお参りしました。元旦の空は晴れていても、風花の舞う寒い日で、峠道は一面の白化粧でした。

参拝の順番を待っていると、お社の手前の庇に不思議な影が映ります。逆さの富士山のようなシルエットが幾つもあり、一瞬ですが平らに近づいてフツと消えては元に戻ります。（写真や動画に撮っておくと良かったのですが、神様の前では控えました）よく見ると手前に雫があり、差し込む陽光を庇に映しているのだと分りました。不思議な光景を、私たち家族や周囲の人と共有しました。（そのものではありませんが、こんな雫がありましたね）

「終わりよければ」いせの会

この地域で最後まで暮らすことを話し合います。参加無料  
1月18日（日）午後1時〜 保健福祉センターの2階和室  
四日市三重団地でのライフサポート活動についても、当事者の方の助言を聴きます。



自宅か施設かの選択でなく「一人一人が、分かち合う暮らし」という考え方が必要になってくるのではないのでしょうか。



自宅での人生を  
最期まで支援します

〒516-0805  
三重県伊勢市御園町高向 927  
電話 0596-20-8104  
ファクス 0596-20-8105  
メール [homecare@kr.tcp-ip.or.jp](mailto:homecare@kr.tcp-ip.or.jp)  
ホームページ <http://isezaitaku.com>

